

千葉県職労 2008.2.20 医療施設評 ニュース

発行 千葉県医療施設労働組合
〒260-8667 千葉市中央区市場町1の1県庁内
TEL 043-223-4608 FAX 043-224-5475
eメール kiriya@chibakensyoku.jp
ホームページ <http://www.chibakensyoku.jp/>
発行責任者 桐谷 加代子

一病棟・60床に。看護師なぞ25人減 整形外科休診の提案

2月18日、病院局経営管理課長及び東金病院事務局長は、組合に東金病院の整形外科医3名の退職不補充を理由に、2008年度の運営体制に関して以下の提案をしました。

- ① 2008年4月から整形外科休診。3月から新規入院を停止。
- ② 同年3月から外科系の輪番、休日2次当番を辞退。
- ③ 1病棟1看護体制に変更（内科、外科、小児科約60床）。
- ④ 看護師74名から56名に減、リハビリテーション科を閉鎖し7名の職員を減。

この提案は、整形外科の休診というだけでなく、救急医療体制の後退など地域医療と病院運営に深刻な打撃となります。そして、昨年の産婦人科に続き、県が東金病院を大幅縮小し、地域医療から事実上、撤退するものではないでしょうか。また、病院の再建にむけ頑張っている職員を失望させるものです。

組合は、崩壊する地域医療を立て直し、病院職員が地域の医療ニーズに応え安心して働ける体制とするために、「県が東金病院は充実する」という約束を守るよう求め、次の要求実現に向け運動します。多くの職員の皆さんのご協力をお願いします。

＜東金病院の再建、充実を求める要求書案＞

1. 緊急に実効ある医師確保対策を講じること。
 - ① 千葉大学に県立病院に医師が残る施策を講ずるよう求めること。
 - ② 医師の定着を図るため労働条件を抜本的に改善すること。
 - ③ 国に臨床研修医制度の見直しを求めること。
2. 地域の医療ニーズに応えるため、救急、産婦人科、整形外科等の診療科や病床数の確保など、県立病院としての機能を回復させること。
3. 地域医療を担うに相応しい職員体制を整備するとともに、病棟再編に伴う異動は希望調査を実施するなど、本人の希望を尊重すること。